

SIMCO通信

令和 2年1月15日
第118号 発行

新年ご挨拶 代表取締役 嶋崎利行



皆さま、新年明けましておめでとうございます。
本年も何とぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年はコロナに始まりコロナに終わったと言っても過言ではない、まさにあつという間に感じられた一年でありました。特に四月に緊急事態宣言が出されて以降は不測の事態であるということも相俟り、現代における世の中の様々なものごとや営みの常識が、根底から覆っていつてしまうのでは無いか、そんな思いにもいつ時捉われたりしました。ヒトの流れや行動形式にも大いなる制約が加わり、その是非は別として、また已むを得ない側面もあるにせよ、それまでは本格的な推進には未だまだ遠かったリモートによる情報・意見の伝達と交換、ならびにその普及が、まさしく一挙に進んで行きました。宴席の極端な減少なども、飲食業を営まれる方々のご窮状は察して余りありますが、旧来のコミュニケーションの在り方を改めて考えさせられる、新たな契機になった様にも思われます。

年が変わり、今また感染拡大による、新たな緊急事態宣言が発令されました。経済の維持と感染防止のせめぎ合いの中、国も難しい舵取りを迫られています。この先、ワクチンの開発とその普及、そして多くの国民がウィルスに対する免疫を獲得するまで、この戦いは続くのだと思います。そしてその収束までは、より長い時間を要する可能性もあります。また我々の様な小規模の製造業は、現状、リモートワークだけではその殆どが成り立たないことも厳然たる事実であります。今はこの先の可能性を信じ、自分達に出来る徹底した感染防止対策を行いながら、来たるべき時に備え、日々一つひとつ着実に、組織力の強化に励んで行きたいと思っております。

今年も社員一同、皆様に喜んでいただける会社になるべく、一生懸命精進して参ります。
引き続きご愛顧のほど、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

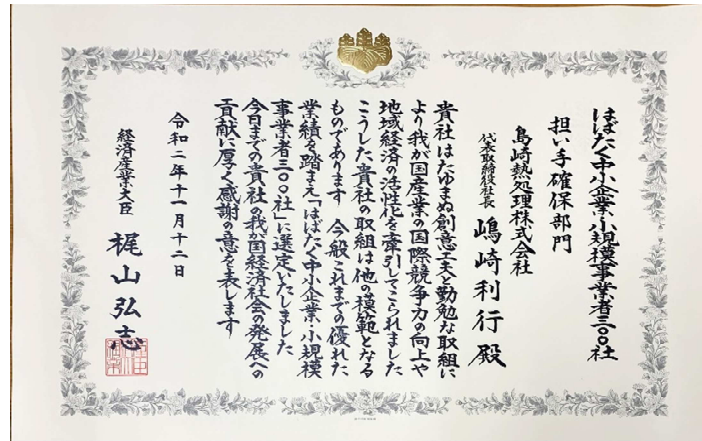


島崎熱処理株式会社
代表取締役社長
嶋崎利行

はばたく中小企業300社に選定

当社は国の2020年度『はばたく中小企業・小規模事業者三百社』に選定されました(千葉県7社)。これを矜持とし、これからも励んで参ります。

こちらの中小企業庁ホームページよりご参照いただけます(担い手確保部門)。



お餅の話

お餅は、磯辺巻きのように焼いて食べる。お雑煮のように汁物にして食べる。そして、餅屋やスーパーで売っている切り餅を煮て食べる事が多いと思います。

一般的に搗き立ての餅もそうですが、煮て食べる場合は餡子や、きな粉等で甘くして食べるお餅が多いと個人的には思います。

自分が以前、よく口にしていた搗き立てや煮たお餅は、甘味ばかりではありませんでした。

- ① 納豆をタレで、よ〜く混ぜてから少々醤油を足して餅を和える
①へ更に刻み海苔と刻みネギを加える(また更に胡麻、ウズラの卵の卵黄他、お好みで)
- ② 大根おろしに醤油(めんつゆ他、お好きなタレ)。これに餅を加える

①~②ご存知の方も多いとは思いますが、自分は最近甘く味付けしたお餅しか見かけません。これは一例で、世の中には様々な食べ方があるとは思いますが、試した事のない方はお正月の余ったお餅がまだあれば活用してみてください。

自分としては「ご飯の代わり」になる感覚です。喉に詰まらせないよう、お気を付け下さい。

○編集後記○

切り餅1個分(50g)で約120kcalで、ご飯(白米)で換算すると1/2杯分に相当します。
つまり切り餅2個分(100g)＝ご飯茶碗1杯分(150g)と同じカロリーです。
数を決めて食べ過ぎには注意しましょう！！

裏面担当 荒井

